

主 催： 渡部昭男（研究代表者）大阪成蹊大学（特別招聘教授）／元神戸大学
 基盤研究(C)課題番号 19K02864（2019-21年度）・22K02702（2022-25年度）
 高等教育における経済的負担軽減及び修学支援に係る法・制度・行財政の日韓比較研究
 コロナ禍における高等教育の経済的負担軽減及び修学支援に係る日韓比較研究

日 程： 2023年 **6月17日（土）**（開場 12:45）13:00～16:20

企画テーマ： 日韓/韓日対話 第5回企画 日韓/韓日における

高等教育に係る権利保障運動・漸進的無償化運動

——（韓国）大学教育研究所 KHEI パク・コヨン所長らの論考をもとにした対話——

趣 旨：

「教育を受ける権利 right to receive education」（大韓民国憲法 31 条、日本国憲法 26 条）「教育の機会均等 equal educational opportunity」（韓国教育基本法 4 条、日本教育基本法 4 条）は、韓国・日本ともに憲法・教育基本法に定められた原理原則である。また両国は、中等教育・高等教育の漸進的無償化条項（13 条）を含めて国際人権 A 規約を批准している。2022 年度において、第 1 回では「韓国における教育機会平等保障の主張と運動」、第 2 回では「高等教育無償化に係る法制と諸方策」、第 3 回では「ヒューマンライツとしての国際人権規約」、第 4 回では「高等教育への権利」のテーマのもとに、対話を深めた。それらの成果のうえに立って、今回の第 5 回対話企画では、大学教育研究所のパク・コヨン所長らの論考をもとに、「日韓/韓日における高等教育に係る権利保障運動・漸進的無償化運動」を採り上げる。

司 会： 渡部 昭男（大阪成蹊大学／元神戸大学）

次 第：

13:00～ 開会挨拶・趣旨説明：渡部 昭男

13:10～ パク コヨン(Park Ker-Young)氏（大学教育研究所所長／祥明大学校名誉教授）

「韓国の登録金負担の軽減（漸進的教育無償化運動）の沿革」

日本語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012443>

韓国語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012442>

翻訳／通訳：多胡 太佑氏（北海道大学大学院生）

13:50～ 重本 直利(Shigemoto Naotoshi)氏（龍谷大学元教授／大学評価学会初代事務局長）

「国際人権規約（A 規約）批准と高等教育の漸進的無償化：その経緯および取り組みと今後の課題」

日本語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/90009184>

韓国語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100478240>

翻訳／通訳：肥後 耕生氏（豊岡短期大学講師）

14:30～ 休 憩

14:40～ イム ウンヒ(Lim Eun-Hee)氏（大学教育研究所所員）

「韓国の大学の登録金負担の緩和政策」（ヨン ドクウォン論考をリメイク）

日本語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012445>

韓国語 <https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012444>

翻訳／通訳：多胡 太佑氏（北海道大学大学院生）

15:20～ 総合討論 通訳：肥後 耕生氏（豊岡短期大学講師）

16:10～ 閉会挨拶：渡部 昭男

参加呼掛け： 科研費で寄稿をお願いした両国の研究者による ZOOM 集会

（日本教育学会、日本教育行政学会、日本教育法学会、大学評価学会などに企画を案内）

照 会 先： 渡部昭男 awtnb2188@gmail.com（参加無料／要事前登録）

事 前 登 録： 申込書 <https://forms.gle/8o9kNy3r65xaDR3w5>

備 考： Kernel にアップしている論考をベースに意見交換する形で共同研究を深めたい。
 科研費研究は広く一般に成果を還元することが求められており、当日資料と ZOOM 録画を神戸大学学術成果リポジトリ Kernel にアップし公開する。